

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年4月6日

事業所名 リハルキッズDAZAIFU2

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | | 場面に合わせて、人員配置や場所の確保を行っています。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | | ・規定に沿った上で子ども達の人数・様子に合わせて職員人数の調整を行っています。 | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 5 | | ・動のお部屋・静のお部屋と分ける事で構造化を図り、気持ちの切り替えに繋げる工夫も行ってあります。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 5 | | 日々、環境整備に努めながら、清潔感には配慮しております。 | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 5 | | 職員一人ひとりが目標を設定し、振り返りを積みながら、スキル向上に努めております。 | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | | ・皆様から頂きました貴重なご意見をもとに、今後の療育に努めて参りたいと思います。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | | ・書面にて公開させて頂くと共に、引き続きご意見やご要望に真摯に耳を傾けて参りたいと思います。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 5 | | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | | ・毎月題材を決め、職員教育に繋げる為職員研修を設けております。 | |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 5 | | ・保護者よりアセスメントを取りながら支援計画を制作いたしております。また変更等がある場合は速やかに対処できるよう取り組んでおります。 | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | | ・ツールとして使用いたしております。 | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 5 | | | ・保護者に分かりやすいご説明ができるよう職員全体で知識向上を図っていきたく考えます。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 5 | | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | | ・毎日職員間で意見交換できる時間を設定し、取り組んでおります。 | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | | ・「楽しく学べる場」として工夫しておりますが活動によっては繰り返し行う事で成長を促す活動もありますので組み合わせせております。 | |
| 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 5 | | ・お子様各々課題及び日々の様子が違いますので、それに合わせた取り組みを行っています。 | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | | ・朝礼等のミーティングにて密に打ち合わせを行っております。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | | ・事例等を通して支援を振り返り、今後に繋がる意見交換を密に行っています。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | ・ケース記録や業務日誌等を通して記録し今後に繋げています。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | | ・積極的にサービス担当者会議に参加しています。またその中での情報を職員間で共有できる体制を整え、支援に繋げています。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 1 | ・定期的に関係機関と連絡を取り、指導を受けております。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 5 | | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 5 | | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | | ・保護者のご意向及び相談支援員仲介の元、必要に応じて行っております。 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 2 | 3 | ・必要に応じて情報交換を行っています。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 5 | | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 3 | 2 | | 感染予防の為、積極的な交流は行っておりません。保護者のご意見を伺いながら今後検討していきたいと思っております。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | | ・連絡帳及び送迎時お子様のご様子をお伝えしております。また場合に応じて電話や面談等にて取り組みを行っております。 | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 5 | | ・保護者のご希望に合わせて面談も含めながら個別に支援しております。 | ・保護者に広くお伝えしていないので、取り組みについて公表しながらご希望をお聞きしていきたいと思っております。 ・職員全体が取り組めるようにスキルアップを目指していきます。 |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 3 | 2 | ・契約時及び室内掲示にて行っております。 | ・保護者全体に理解頂けるよう、より丁寧なご説明を行っていきたく思います。 ・職員全員が丁寧なご説明ができるよう職員指導にも努めて参ります。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 3 | 2 | ・保護者に目標等をお聞きしながら個別に考えご説明を行う事で、同意を頂いております。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|----------------------------------------------------------------------------|----|-----|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | | ・相談など気軽にできるようコミュニケーション作りを努めています。また特定の職員が行う事でより親密に対応できるよう行っております。 | ・保護者からの相談・助言等の支援においては、特定の職員が行っている為、職員の皆ができるように職員教育に努めて参ります。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 5 | | ・コロナ禍という事もあり、積極的な交流は行っておりません。保護者のご意見を伺いながら今後検討していきたいと思ひます。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | | ・職員間で情報共有しながら迅速に対応できる体制を作っております。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 5 | | ・ブログにて公開していると共に毎月『D2だより』としてクラスだよりを発行する事で情報や連絡など発信しております。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 5 | | ・最新の注意を払っています。他事業所等とのやり取りにおいても保護者の了承を得ての取り組みです。 | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | | ・相手に合わせた情報伝達に努めています。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 5 | | ・コロナ禍という事もあり、積極的な交流は行っておりません。保護者のご意見を伺いながら今後検討していきたいと思ひます。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 5 | | | ・保護者の方にも広く理解して頂くよう、ご希望に合わせてマニュアルの公開や避難訓練時の様子を発信していきたいと思ひます。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | | ・毎月いざという時を想定して活動の中に避難訓練を行っております。職員間で避難場所や誘導方法の確認も行っております。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 5 | | ・職員全体で周知いたしております。またそれぞれの対応につきましても保護者に確認し迅速に対応できる体制を整えています。 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | | ・一覧を作成しております。 ・おやつ時アレルギーを確認し提供しています。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | ・当法人全体でヒヤリハット報告を行い、事前に事故を防ぐ事が出来るよう勉強会を設けております。 | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | 定期的な職員研修の機会を設け、共通理解に努めている。 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 3 | 2 | | ・現在の所、身体拘束を必要とするお子様おりませんが、安全を考慮し必要に応じて最適な対応ができるよう保護者や相談支援員等と情報共有しながら努めて参りたいと思ひます。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。